

平成19年度 第3回環境審議会 会議録

日 時 平成20年2月28日(木) 14:00~14:45

事務局	<p>定刻になりましたので、平成19年度第3回四條畷市環境審議会を開催してまいりたいと思います。現在の出席議員につきましては13名、竹内委員につきましては後ほど来られ、江頭委員につきましては欠席でございます。環境審議会規則第4条第2項の規定に基づきまして、過半数の出席をいただいておりますので、本日の会議が成立いたしますことをご報告させていただきます。</p> <p>なお、本日の審議会に対する会議の傍聴希望者が5名おられます。傍聴の許可につきましては、ご判断いただきたいと思います。</p>
福田会長	<p>ただ今、事務局から傍聴人についての報告がありましたが、非公開とする理由は特にございませんので、傍聴を許可することとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
福田会長	<p>ありがとうございます。それでは傍聴者の入場を許可します。</p> <p>- 傍聴者入場 -</p>
事務局	<p>それでは傍聴者の皆様に傍聴いただくにあたってのお願いを申し上げます。本審議会の会議の傍聴要領には、傍聴者の遵守すべき事項が定められております。会場における言動に対して拍手等により賛否を表明したり騒ぎ立てることのないこと、またみだりに席を離れたり他人に迷惑をかける行為をしないこと、でございます。なお、これらに違反するような場合につきましては、会長の命令により退場いただくこととなりますのでよろしくお願い致します。</p> <p>それでは議事の進行を会長の方でよろしく申し上げます。</p>
福田会長	<p>それでは、これより前回に引き続き、四條畷市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(案)についてを議題に審議を進めてまいります。</p> <p>本日は、前回の議論を踏まえ、本審議会の答申の取りまとめを行ってまいりたいと思います。</p> <p>まず、配布資料について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、配布させていただいております資料の確認をさせていただきます。</p>

	<p>す。 会議次第、また会議資料の事前配布資料として 四條畷市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）についての答申（案） 平成19年度第2回環境審議会会議録、以上です。事前に配布いたしました資料は本日お持ちいただいておりますでしょうか。</p> <p>ここで、前回の第2回審議会の議事録について確認させていただきますが、内容に誤りや修正等はありませんでしょうか。</p> <p>とくに問題がなければ、この内容でご了承いただいたものとさせていただきます、市のホームページでも公開させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。</p> <p>それでは、会長、議事の進行をよろしくお願いたします。</p>
<p>福田会長</p>	<p>それでは、委員の皆様には、事前に配布されております「答申（案）」について、ご一読いただいていることと存じます。再度、簡単に事務局の方から、説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご説明申し上げます。</p> <p>前回の会議資料でありました「重点的に推進すべき施策事業についての（案）」を基本としながら、前回の委員の皆様から出された意見を踏まえ、答申書として取りまとめたものが、事前配布しております答申（案）であります。一読していただいているとは思いますが、再度ご説明申し上げます。</p> <p>答申（案）をご覧いただきたいと思っております。この部分は、答申（案）の内容に沿って受発番号等を採った形でございます。文章の中の平成20年2月23日付けからの2行の下りにつきましては、下記のとおり答申しますということで新たに加えたものでございます。</p> <p>次に[記]から下の部分、「本審議会において慎重に審議した結果、本ごみ処理基本計画は概ね妥当と判断するが、ごみ処理フローや排出目標にかかる資料などにおいて、説明不足の箇所が見受けられることから改善を検討されたい」というものについて、新たに今回付け加えさせていただいた部分でございます。なお、1行目から2行目にかけて、「ごみ処理フローや排出目標にかかる資料などにおいて説明不足の箇所が見受けられることから改善を検討されたい」という部分については、前回扇谷委員からご指摘のあったごみ処理基本計画の中の課題箇所についての意見ということで付けさせていただきました。この中のまた、からの3行目から4行目、5行目にかけての部分でございます。この部分につきましては、前回の重点的に推進すべき施策事業の中から引用した部分でございます。ここについても読み上げさせていただきます。「また、計画に掲げたごみ減量化等の目標の達成に努めるとともに、環境への負荷の少ない循環型社会の形成に向けた取り組みを推進するため、次のとおり意見を付して答申します」という形でございます。</p> <p>次に、国においては、の下りでございます。ここからほとんど変えてござ</p>

<p>福田会長</p>	<p>いません。ただ下から 8 行目のところで、以下の文章がありますが、この文章につきましては、先ほど申し上げました計画に掲げたというところに引用を変えただけでございます。</p> <p>また、「重点的に推進すべき施策事業」につきまして、朗読させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 1 . ごみの発生抑制・リサイクル施策の推進を朗読 - - 2 . 施策推進のための協働体制の強化を朗読 - <p>この項目では、2 行目の「ごみの分別やリサイクルをはじめとした」というところ、また につきましてもごみの分別がしやすいというご意見がございました。それと、リサイクルされた後の情報提供あるいは市民への周知が必要とのご意見もございました。そういう意見を踏まえまして、ここに「ごみの分別やリサイクルをはじめとしたごみ問題の理解を深め、自主的な取り組みが促進されるよう、情報の提供」というような形の中で整理させていただいた部分でございます。また、意見の中でごみ副読本など市民にわかりやすい啓発物をとのご意見がございました。その中で、</p> <p>の施策に「情報の提供と啓発物」ということで、ごみ読本とは書きませんでしたけれども、啓発物という形で入れさせていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 3 . 計画の適正な進行管理を朗読 - <p>この項目では、前回の意見の中で組織体制の強化については行政内部でできることであるので取り組めるのではないかとのご意見、またごみ処理経費にかかる収集委託経費の入札制度導入の検討を踏まえた中で、ごみ処理経費の調査研究などを行い、事業の効率化に努める必要があるということを入れさせていただいております。施策項目の中では、 計画に掲げた施策の実現に向けて、「組織体制の強化に努めること」、「ごみ処理経費や委託事業のあり方の調査研究などにより事業の効率化に努めること」ということで、意見を踏まえて施策項目として追加させていただいた部分でございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 4 . 中間処理施設の整備の推進を朗読 - <p>ここの修正箇所につきましては、1 行目から 2 行目にかけて、経年的な老朽化が進んでいるところであり、「将来的なごみ処理の検討を踏まえた、新しいごみ処理施設整備の推進に努める必要がある」というところがございます。これにつきましては、老朽化が進んでいるから新たなごみ処理施設が必要なのではなしに、もう少しごみ質の問題あるいはごみの将来動向等を踏まえた記述が必要ではないかということがございました。その中で、将来的なごみ処理の検討を踏まえた、という形の中の文章を入れながら新しいごみ処理施設整備の推進に努める必要があるという形の下りで、文章を一部改めさせていただきました。</p> <p>以上、前回重点的に推進すべき施策事業（案）から修正させていただいた部分が、お示しさせていただいている答申（案）でございます。よろしくお願いたします。</p> <p>ありがとうございました。ただ今事務局より答申（案）についてご説明い</p>
-------------	---

佐木委員	<p>ただきましたが、これにつきまして委員の皆様のご意見をお受けしたいと思いましたが、いかがでしょうか。はい。</p> <p>3. 計画の適正な進行管理なのですが、 の実施計画の策定による適正な進行管理に努めることとあるように、この基本計画が出来上がった次は実施計画、このタイムスケジュールにかかってくると思うのです。だから単に実施計画の策定による適正な進行管理に努めることプラス、基本計画から実施計画に移るまでのスケジュール的なものをこの中に入れる必要があるのかないのか、でなければ実施計画はいつできるのか、いつ始まるのかということが出てきます。ですのでこれの補足説明を少し入れた方がいいのではないかとはいいますが、いかがでしょうか。</p>
福田会長	<p>いかがですか。これを答申してからの動きとかも理解していただいたうえで答えていただいた方が。</p>
事務局	<p>計画書の 4-11 をご覧いただきたいと思います。4-11 の中ほどに実施計画の策定による計画の進行管理というところがございします。今の施策項目の部分はここから引用した部分の頭出しでございします。策定につきましては実施計画はスケジュール的には直ちに策定に入ることとございします。ただ、今回の進行管理におきましては、ここの施策内容の中で、2 行目、また市民参加による組織において計画が着実に実施されているかチェックを行うというところで、具体的には進行管理組織を市民参加によって組織化していくということが実はこの後にございします。実施計画を策定し、実施計画に基づいて進行管理を市民参加の中で組織化して行っていくという部分が後の施策の中でございします。佐木委員のおっしゃっておられた実施計画を策定することについては、直ちに策定に着手する策定に入るとい形でご答弁申し上げたいと思います。</p>
佐木委員	<p>ただ案というのはどうしても言葉の遊びになってしまうので、実際市民が計画に目を通した時に、これいつからどういうふうに、どういう形であるのか実施計画を。肝心なものはこういう計画ではなしに、市民が参加する実施計画の実施をどういうスケジュールで、どういう形でどういう方法でするのかということを示していただかないといけないので、実施計画のスケジュールというのは大変重要なのです。その点だけしっかり重点的に考えていく必要があるだろうなという気がしています。</p>
福田会長	<p>ありがとうございます。他にご意見ございませんでしょうか。はい。</p>

竹内委員	<p>ここにこういうものが出来てもあまり意味がないと思うのです。例えばリデュース（発生抑制）を図るのはこうこう、こうして下さいと具体化しなければ、出しても何ら意味をなさないように思うのです。例えばリユース（再使用）もこういうものはこういう場合に再使用できますよとかね、こういうことを市民に訴えなければできないと思うのです。そういう具体化をどのようにしていくか、リサイクルでもそうです、再生利用でも。こういうものはこのように再生利用していけるのですよということをね、その上でまたどうするかの問題になってくるかと思うのですよね。そういう具体案を出さなければこれを出したからと言って意味がないのではないかと。その中身を市民に訴えなければいけないのではないかと私は思うのですが。</p> <p>こんなことを言っても、それこそ十戒と同じで十戒を守ればこの世の中平和なのです。それを守れないから問題なのです。そういうものを市民にわかりやすく、こうしていくのですよということを訴えなければいけないだろうと。それをちょっと研究しなければいけないのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
福田会長	<p>今のこの2．施策推進のための協働体制の強化の中で先ほど言われたことを具体的にされた方が良いということですね。</p>
良委員	<p>今日いただいた文章の大きい2番の、出前講座などによる生涯学習の場での環境学習や学校教育の場での環境教育の充実を図ること、ここ謳ってありますよね。私はこれで良いと思いますけど。また各地区で相当日にちをかけて説明会しましたね。あれを何回か繰り返すことによって2月から分別をしていることですし、発揮できるのではないのでしょうか。私らも頑張りますので。</p>
事務局	<p>先ほどの2人方からもありましたように、今回のこの「ごみの分別やリサイクルをはじめとした」というところの中で、文言を付け加えさせていただきましたということは先ほどご説明申し上げました。ここに本来はいろんなリサイクルの後、どういうふうになりサイクル商品になっていくのかということを知りたがっている、あるいは竹内委員がおっしゃったようにリユース、リサイクルの方法ですね、方法を市民が理解しやすい啓発物あるいは啓発の仕方というのは研究していかなければならない中で、具体的にこうするということをここで、方法論が具体的にどこまで書けるかという問題がございました。ここでは重点化すべき施策の方向性として なり なりに整理した形で表現させていただいています。ただ、この表現は何らこだわりませんので、より読みやすい伝わるような表現に変えるというようなことことであれば、それで結構でございますのでよろしくおまと</p>

	めいただいたらと思います。
佐木委員	竹内委員のおっしゃっているのはこれはこれで良いとしても、次にどう繋げていくかということをおっしゃっているわけで、次にどういう部分が実施計画として出来上がってくるのかということが一番大事だということをおっしゃっておられる。それでないと市民はごみを1日当たり20グラム減らせといても、20グラム減らすということは具体的にどれくらいの嵩なのか、何をどうやったらいいのかというようなことまで踏み込むのは次の段階のことだと思うのです。ですので基本計画(案)としてはこれで一応いいのかなと思うのです。次の段階の話がされていると思うのです。
福田会長	具体的にどう動くのか説明していただけますか。
事務局	具体的には講座関係、あるいはリーダー育成について中心的な役割を担っていただく方々、現実的に言えば環境団体ということで集団回収促進協議会という組織がございます。ここの中では市民の集い等で環境フロシキを配布したりとかそういう活動が、行政と環境団体との連携の中で行ってございます。これらの活発化の中で多くのごみ問題に関する理解者、市民の理解者を増やしていくということが非常に重要ではなからうかと。とくにごみ問題は排出される市民の方々がごみ問題を考えていただいて、分別なりリサイクルなりという活動を展開していただかないとなかなか難しい問題がございます。そういう意味では啓発、あるいは市民の自主的な活動を促進するような施策を細かく行っていく必要がございます。前回の資料の中で、マイバッグやレジ袋削減キャンペーンであるとか、堆肥化とかの施策を多数行っております。そのあたりをより充実させる中で、事業展開を進めていきたいと思っています。具体的にメニューはたくさんございますのでこれとは申し上げられませんがよろしくお願い致します。
福田会長	はいどうぞ。
武田委員	同じことの繰り返しで申し訳ないのですが、各委員がおっしゃられたことで、すべて行政から文章が出てくるものは、必ず強化します、図ります、努めます、努力しますとか何かしますとかばかりなのですね。具体的にもう一つ言えば、事務局がおっしゃったように、住民活動団体について、結局団体に入ろうという意識がおられる人ばかりの団体を育成していても難しいのかなと。住民、隣近所の組織的なものから湧き出すものを作り上げないと、全く無関心な方がいらっしゃるの、自治会などを活用するとか、一番底辺の市民から意識の底上げをしないと何も進まない。幾ら団体

	<p>を作っても結局同じことなのです。今後、区長とか自治会とかの住民、隣近所からの構成メンバーを増やさないと、全く無関心な方もたくさん居られるので、底辺である市民意識の底上げを図らないと、いくら団体として活動しても何も進まないと思います。絵に描いた餅になってしまいます。啓発本が閲覧所に置いていてもインターネットや広報で啓発しても結局ほとんどの方がかわからない。そういうことも踏まえて具体的な実務的な作業に着目して今後は進めないと、ごみは毎日出ますから。</p>
<p>福田会長</p>	<p>ありがとうございます。具体的にはどうするとかは。</p>
<p>佐木委員</p>	<p>ここでは要するに、会長がおっしゃってるように、具体的な文言を入れるかどうかということは今察していただけるので、細かいごみ問題の施策についてやろうということではないと思うのです。だからどういうふうに文書化して入れていくのか、何を付け加えていくのかというだけです。だから具体的なことをここでやるのではなしに、それは実施計画の段階で叩くべきですね。ここで叩いていくのは時間ばかり取って意味が無いと思いますので。総合的にこの中に追加として入れる、あるいはどういう形のものを入れたら整合性が取れるか、次に繋がるかというようなことだと思います。それをわかるように整理していただきたいということだと思います。</p>
<p>大川委員</p>	<p>今回の答申（案）については、前回の会議の意見がうまくまとめられていると思います。基本計画の諮問ですから当然審議会で答申を出すと、これに対して答申を出すということについては、重点的に推進すべき施策事業という形の中で 1～4 の項目まで述べられておるので、これはこれで答申という形でまとめて、その後どうするかということは問題としてまた審議会の中で議論するという形で、今日はこれをきちっとまとめて市長に答申していくということだろうと思いますので、私はこれで結構だと思います。</p>
<p>福田会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。今まで触れてますが、私から述べましたが、大きな 2 番目の施策推進のための協働体制の強化だと。ただ文章としては良いけど、具体的にこれをしていただかないと意味がないということが再三言われていると思うのです。文章だけに終わるのではないかと。そういうことをここに入れるというのは文章として難しいのではないかと。啓発活動の推進、要するに先ほど武田委員のおっしゃったように町会レベルまで下げていく時になりますと、自治振興委員会の委員から班の長までいく、町会で運動するところまでいくと、実際にしていただかなければならないわけで、ここで文章にすれば図るとか、お願いするとかという文章になるので、これについては行政に動いていただくようにと。</p>

武田委員	言いたかったのは、ここに文章として会長のおっしゃったようなことを書きなさいというようなことではなくて、繰り返しになりますが、今後動いていかなければならない。ただ強化しますとかいう文だけではやはりちょっと。
福田会長	ニュアンスとしてはどういう用語にしたら良いですか。おっしゃることは皆さん分かっておられると思うのです。おっしゃることは皆さん同じだと思うのです。文章として市長にお願いする案とした場合に今おっしゃったような意味合いを含ませるとなった時の表現としては、図るや努めるとか努めて欲しいとかやって下さいとかいうお願い文になってしまうを得ないと思うのですが、良い案があればおっしゃっていただきたい。
武田委員	これはこれで作ってしまって付録文と言いますか、付録みたいな形で具体的にはこういうことを考えていますとか、一冊の本に一枚ものを付ける、差込むとかいう感覚の説明書きみたいな形を付け加えるとかするのも一つの案かと思うのです。このような審議会の答申案というのを作って実際に強化します、努めます、推進します、促進しますなど、結局どういうふうになるのかと問われた時には次に書いてあるでしょうとか、具体的に実は何年かぐらいまでにはと曖昧なのですが、こういう組織チェック機能を作る予定ですか、そういう形を取るのも一つの手段かなと思うのですが。
福田会長	これは議員3人居られますので具体的に言っていただいたほうが手っ取り早いのでは。実際に議員に入っていておられますし議会に言っていただいた方が。具体的に実施する為にはここで言うより、市議会で具体的に挙げていただかないと。
武田委員	市議会ですか。
福田会長	要するに、四條畷市市議会です。
武田委員	市議会が市民一人一人の声を聞いてくれないのです。
福田会長	ですから、委員として議員も3人入っていただいているわけですから、お願いできるわけですよ。我々の意見を反映するために。お願いして下さい。

扇谷委員	<p>武田委員のおっしゃることは良くわかります。例えば2. ごみ減量推進リーダーの養成やという言葉なのですが、これは今まで一環して言われてきているのですが出来ていない。本文にも同じことが挙がっているのです。ごみ減量推進リーダーを養成し、組織的に機能することを目指すと書いてあるのです。武田委員のおっしゃるのは、おそらくいろんな形で関わっている団体はもちろん動いてくれている。しかしもっと57500人の市民のほとんどが自らの問題として取り組むようにならないと変わりませんよというお話だろうと思うのです。その時に、ごみ減量推進リーダーを本当に作ろうとしているのですかと。これは私も議会で訴えてきています。ですが前向きに取り組むとは言ってもらえることが出来ていないのです。ですから武田委員のおっしゃる言葉をここで若干具体性を持たせるならば、私の提案ですが、ごみ減量推進リーダーの養成を急ぎと例えば3文字入れれば、武田委員のおっしゃったことが生きてくるのではないかと。大きな変更でもありませんし、計画案にも載っておるわけですから、実施しない筈はありませんので、こういうことをちょっと追加してもらったらいかがでしょうか。</p>
福田会長	<p>ありがとうございます。実際に審議会でおっしゃっていただいていることが動いていないということなのですが。</p>
武田委員	<p>フォローいただいてありがとうございます。おっしゃる通りだと思います。</p>
佐木委員	<p>扇谷委員のおっしゃったような急ぎではなしに、施策推進のための協働体制の強化の項目なのですが、と全部急がないと駄目なのです。ですからこの項目について、総合的に迅速に対応するような文言を入れていただかないといけないわけなのです。推進リーダーだけでなく、全体を共通に見てわかるように前期中に確約するとかそういう具体的なものを少し入れておいたらいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>今回、重点的に計画内容の中で重点的に推進すべき施策事業について抽出させていただいております。これについては今おっしゃられていたように、急ぐべき重要な事業であるということで審議会でご意見を承るという形ですので、全体を急いでというふうな捉え方で市の方は答申を受けるという形になってくることと思います。ただ施策の中で急ぎながらも出来ないという部分があったりとかで、なかなか時期を明言できません。しかし今回の計画の中では個別のメニューとその実施時期を明記させていただいて、ほとんどが前期から着手するという意思表示をさせていただいております。そういう意味では、すべてが前期から取り組むという思いの中で中でも重点的に進めるべき施策事業については更に急ぐ、意を持って進めると</p>

	<p>ということで受け止めていきたいと考えております。時期的になかなか急ぐということはどう捉えるかということはあるでしょうが、ここに書かれている部分は「急ぐ」と或いは「重い」という施策ですよということの位置づけで受けとめようと思っている部分でございます。</p>
福田会長	<p>佐木委員と事務局の方より話があったのですが、佐木委員のお話を聞きましたら、２．施策推進のための協働体制の強化の２行目の「互いに連携し協働して取り組むことが必要であり」を「緊急に取り組む」ことが必要であるということにすれば、下の３つに関わりますから、そういうような形にさせていただいたらどうでしょうか。緊急に取り組まないといけませんよと。すぐにしてくださいと言うふうをお願いしてはいかがでしょうか。そうしましたら先ほど扇谷委員が言われた に入れるのを上の「互いに連携し協働して」という所に入れさせていただいたら。</p>
扇谷委員	<p>結構です。</p>
福田会長	<p>よければそういうことで。ありがとうございます。他にご意見ございませんでしょうか。</p>
島田委員	<p>答申案の１行目の平成２０年２月２３日付けとありますが、これは１月の間違いではありませんか。</p>
事務局	<p>申し訳ございません。１月２３日が諮問日でございます。</p>
福田会長	<p>どうもありがとうございます。最初の平成２０年２月２３日を１月２３日で。他にご意見ございませんでしょうか。</p>
各委員	<p>なし。</p>
福田会長	<p>ありがとうございます。それでは先ほどの修正をさせていただいたことで答申はそのように決定させていただいてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>

福田会長	<p>それでは、答申はこのように決定します。 この答申文につきましては、本日付けで、私と奥田副会長から市長の方に答申させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
福田会長	<p>本ごみ処理基本計画について、今後の日程等について事務局の方から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本日は、ご答申をおまとめいただきありがとうございました。 審議会より頂きました答申を踏まえ、直ちに修正いたしましたして施策の計画的な推進に努めてまいりたいと存じます。 また、ごみ処理基本計画策定にかかる今後の取り組み予定であります、審議会の答申を踏まえて庁内決裁を受けて策定してまいります。 その後、計画書の印刷作業に着手してまいります、3月末には計画書の印刷が出来上がるものと考えております。また、3月24日には、ごみ処理基本計画検討委員会を開催して策定にかかる報告を行う予定としております。 なお、本ごみ処理基本計画についての諮問及び答申にかかる審議会における取り組み内容は、この計画書の中に記録として反映させていただきますのでよろしくお願いいたします。 それと、本日の審議会の会議録につきまして、作成でき次第各委員の皆様にご確認を取らせていただき、全委員の確認が取れ次第、市のホームページにおいて公開させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。 今回、この計画作りのなかで作っただけで終わりにしたくないということが議論の中でございました。これについては進行管理の中で、市民参加によるチェック、実施計画を基にしたチェックという行為に努めてまいります。こういうことについても具体的には実施計画の策定を直ちに進める、またその組織化についても着手するという形の中で、今後5年間着実に事業の結果が出るよう進めてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。今後のごみ処理基本計画の策定手順及び進め方については以上でございます。</p>
福田会長	<p>ありがとうございます。以上で本日の審議会の議事はすべて終了いたしました。委員の皆様には議事の進行にご協力いただきありがとうございました。 また、長時間のご審議、ご苦勞様でございました。これをもちまして審議会を閉会したいと思います。ありがとうございました。</p>